令和６年度　専門（養護）試験問題

名古屋市教育委員会

解答は、すべて解答用紙に記入	選考番号	

1　学校保健安全法について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の文の（　　）に適した語句を、下の**1～5**から1つ選び、番号で答えなさい。 **1**

第８条　学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、（　　）を行うものとする。

1　健康診断　　**2**　健康観察　　**3**　健康相談　　**4**　健康教育　　**5**　保健指導

（2）次の文の（　　）に適した語句を、下の**1～5**から1つ選び、番号で答えなさい。 **2**

第 20 条　（　　）は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の休業を行うことができる。

1　学校の設置者　　**2**　校長　　**3**　養護教諭　　**4**　学校医　　**5**　保健所長

2　学校保健安全法施行規則について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の文の（　　）に適した語句を、下の**1～5**から1つ選び、番号で答えなさい。 **3**

第 10 条　法第 13 条第２項の健康診断は、次に掲げるような場合で必要があるときに、必要な検査の項目について行うものとする。
1　感染症又は食中毒の発生したとき。
2　風水害等により感染症の発生のおそれのあるとき。
3　夏季における休業日の直前又は直後
4　結核、寄生虫病その他の疾病の有無について検査を行う必要のあるとき。
5　（　　）のとき。

1　入学　　**2**　進級　　**3**　転校　　**4**　卒業　　**5**　退学

（2）次の文の（　　）に適した語句を、下の**1～5**から1つ選び、番号で答えなさい。 **4**

第 11 条　法第 13 条の健康診断を的確かつ円滑に実施するため、当該健康診断を行うに当たっては、小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校においては全学年において、幼稚園及び大学においては必要と認めるときに、あらかじめ児童生徒等の発育、健康状態等に関する（　　）を行うものとする。

1　聴取　　**2**　調査　　**3**　検査　　**4**　問診　　**5**　照会

3　「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　保健体育編」（平成 29 年 7 月　文部科学省）の「第 2 章　保健体育科の目標及び内容　［保健分野］　2　内容」について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の文は、「(1) 健康な生活と疾病の予防」の一部抜粋です。（　　）に適さない語句を、下の**1**～**5**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 **5**

(ｵ) 感染症の予防

㋐　感染症の予防

感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを、例えば、（　　）、（　　）、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、（　　）、（　　）などを適宜取り上げ理解できるようにする。

1　結核　　**2**　コレラ　　**3**　麻疹　　**4**　風疹　　**5**　チフス

（2）次の文は、「(2) 心身の機能の発達と心の健康」の一部抜粋です。（　　）に適した語句を、下の**1**～**5**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 **6**

(ｳ) 精神機能の発達と自己形成

㋐　知的機能、情意機能、社会性の発達

心は、知的機能、情意機能、社会性等の精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、（　　）の発達とともに発達することを理解できるようにする。

1　自律神経　　**2**　生殖機能　　**3**　脳　　**4**　体　　**5**　内分泌系

4　次の文は、「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　特別活動編」（平成 29 年 7 月　文部科学省）の『第 3 章　各活動・学校行事の目標及び内容　第 1 節　学級活動　2　学級活動の内容　(2) 学級活動「(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」』の一部抜粋です。正しい場合を○、誤った場合を×としたとき、下線①～④の○×の適した組み合わせを、下の**1**～**4**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 **7**

ウ　心身ともに健康で安全な生活態度の形成

保健に関する指導としては、心身の発育・発達、心身の健康を高める生活、健康と環境との関わり、病気の予防、心の健康などがある。これらの題材を通して、児童は、自分の健康状態について関心をもち、①社会的な生活における健康上の問題を見付け、②自分で判断し、処理する力や、③心身の健康を保持増進する態度を養う。さらに、性や薬物等に関する情報の入手が容易になるなど、児童を取り巻く環境が大きく変化している。こうした課題を乗り越えるためにも、現在及び生涯にわたって心身の健康を自分のものとして保持し、健康で安全な生活を送ることができるよう、必要な情報を児童が④自ら選択し、よりよく判断し行動する力を育むことが重要である。

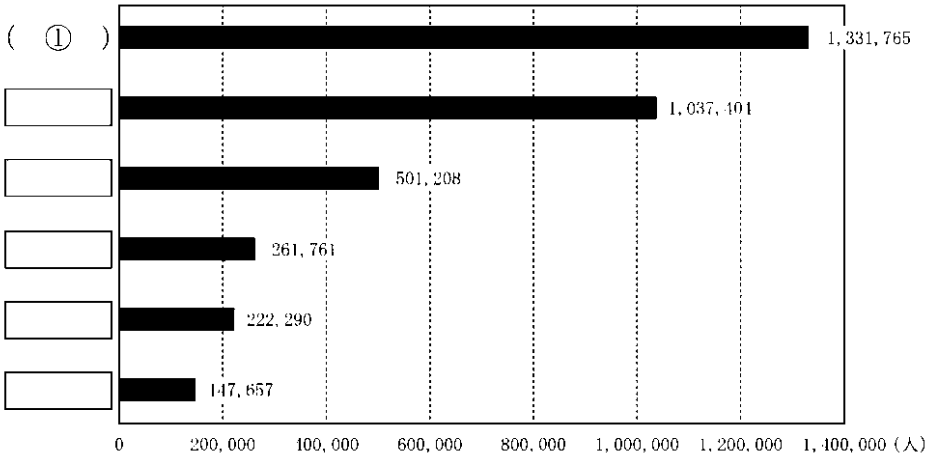
	①	②	③	④
1	○	×	×	×
2	×	○	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○

5　次の１～５の文は、エイズ及び性感染症について書かれたものです。エイズ及び性感染症の知識として適した文を１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 8

1　HIV に感染後、他人に感染しうる状態になってから数週間は、現在行われている検査によっても感染の可能性を検知できない。この期間を「ウインドウ期（ウインドウ・ピリオド)」と言う。
2　ピアスの不衛生な穴あけの使用は、HIV に感染しうる行為とはならない。
3　性感染症や HIV 感染症の検査を医療機関で行う場合、匿名・無料で検査を受けられる。
4　尖圭コンジローマの治療は、塗り薬に限られる。
5　梅毒の病変は、性器に限られる。

6　薬物乱用防止教育について書かれたものです。（１）・（２）の各問いに答えなさい。

（１）次のグラフは、2017 年の全国調査で日本における各薬物の推定経験者数（生涯経験）を示しています。①に適した薬物名を、下の１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 9



1　覚醒剤	2　有機溶剤	3　コカイン	4　危険ドラッグ	5　大麻

（２）次の文は、薬物乱用防止教育において配慮が必要な情報です。適さない文を１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 10

1　薬物使用を防止するための情報
2　乱用される薬物の入手方法や使用方法を教えるような情報
3　薬物乱用者や薬物依存患者の治療、更生、社会復帰のための情報
4　「合法ドラッグ」あるいは「薬物乱用とは何回も繰り返し薬物を使用することである」などの誤解を与える可能性のある情報
5　「薬物を使用するか否かは本人（子供）自身が決めることである」などという表現が使われている情報

7　学校における歯・口の健康づくりについて（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の表は、各発達の段階における歯・口の健康づくりについての重点及び内容をまとめたものです。ア～エのうち、各発達の段階と内容が一致しているものはいくつありますか。下の**1**～**5**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 11

	各発達の段階	重点や内容の一部
ア	幼稚園	歯や口を清潔にする方法について知り、常に清潔に保つことができるようにする。
イ	小学校	歯・口の健康づくりから全身の健康づくりへの健康行動の発展
ウ	中学校	スポーツによる歯・口の外傷についても理解し、予防しようとすることができるようにする。
エ	高等学校	マウスガード等による歯・口の外傷予防、自己管理

1　なし　　**2**　1つ　　**3**　2つ　　**4**　3つ　　**5**　4つ

（2）次の文は、歯みがき指導のポイントを示したものです。適さない文を**1**～**4**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 12

1　歯ブラシの持ち方、握り方、握る際の力の入れ具合は、強く握り過ぎないように指導する。

2　効果的に歯垢を落とすためにはどのように歯ブラシを当てればよいかを子供が自分自身で考え、みがいて確かめながら身に付けていくことが大切である。

3　歯みがき指導において大切なのは、課題解決の過程である。

4　1 本の歯を選んでみがく「1 本みがき」は、自分に合った歯みがきの基本が身に付きにくく、達成感が得られにくい方法である。

8　がん教育について、（1）～（3）の各問いに答えなさい。

（1）「がん教育推進のための教材」（令和 3 年 3 月一部改訂　文部科学省）の「6　がんの治療法　(1) がん治療の三つの柱」に示されている治療法の 1 つを、次の**1**～**5**から 1 つ選び、番号で答えなさい。 13

1　運動療法　　**2**　食事療法　　**3**　理学療法　　**4**　作業療法　　**5**　化学療法

（2）次の文は、「がん教育推進のための教材」（令和 3 年 3 月一部改訂　文部科学省）の「5　がんの早期発見とがん検診　(1) がん検診による早期発見の重要性」に示されている「国が推奨しているがん検診の対象年齢と検診間隔」の一部です。（　①　）・（　②　）に適した数字や語句を、下の**1**～**5**からそれぞれ 1 つ選び、番号で答えなさい。

がん検診の名称	対象年齢	検診間隔
大腸がん検診	（　①　）歳以上の男女	年 1 回
子宮頸がん検診	20 歳以上の女性	（　②　）年に 1 回

（　①　） 14

1　20　　**2**　30　　**3**　40　　**4**　50　　**5**　60

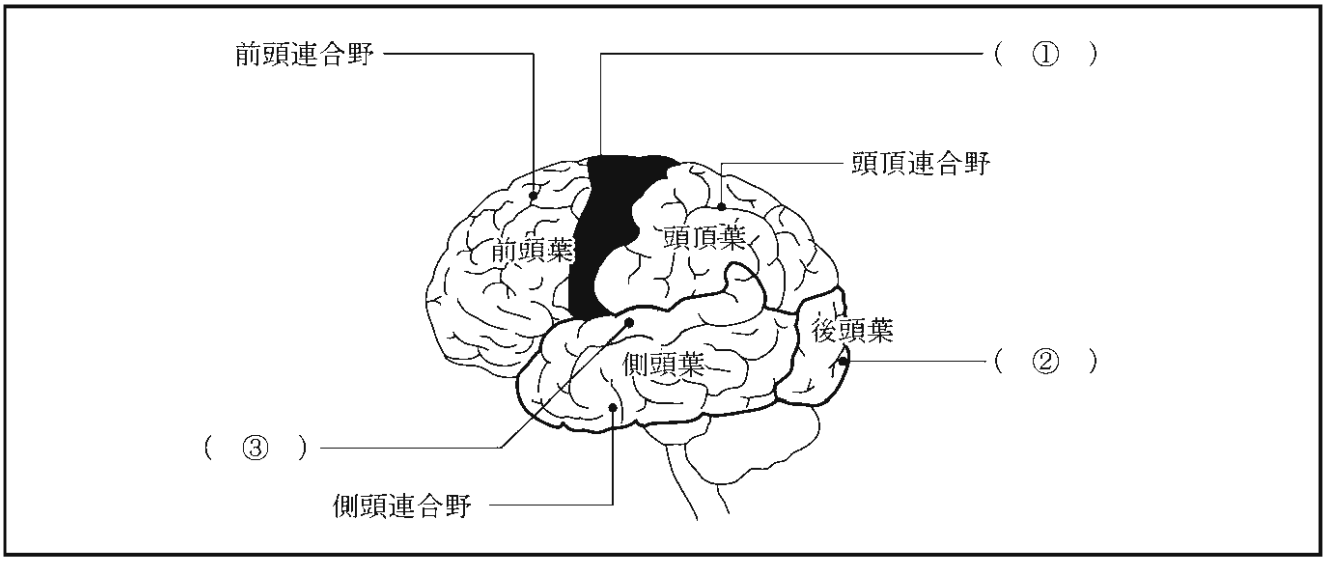
（　②　） 15

1　1　　**2**　2　　**3**　3　　**4**　4　　**5**　5

（３）「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（平成 28 年２月４日一部改正　厚生労働省）に示されている「がん予防重点健康教育」の種類を、次の１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 16

１　舌がん予防健康教育	２　膵臓がん予防健康教育	３　食道がん予防健康教育
４　肺がん予防健康教育	５　膀胱がん予防健康教育	

9　次の図は、大脳皮質のおもな働きを示したものです。図中の（　①　）～（　③　）に当てはまる部位の名称として、適した組み合わせを、下の１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 17



	①	②	③
１	運動野	視覚野	聴覚野
２	感覚野	運動野	視覚野
３	聴覚野	運動性言語野	感覚野
４	運動性言語野	聴覚野	運動野
５	視覚野	感覚野	運動性言語野

10　次の文は、健康診断について書かれたものです。（１）～（３）の各問いに答えなさい。

（１）次の文は、視力検査の判定の一部です。正しい場合を○、誤った場合を×としたとき、下線①～③の○×の適した組み合わせを、下の１～４から１つ選び、番号で答えなさい。 18

> ①0.5の視標が４方向のうち正答が２方向以下の場合は「判別できない」とし、「D」判定とする。４方向のうち３方向を正答できれば「正しい判別」と判定し、次に②0.8の視標にうつる。②0.8の視標で同じく「判別できない」なら「C」と判定、「正しい判別」と判定されれば1.0の視標にうつる。1.0の視標で同じく「判別できない」なら「B」と判定、「正しく判別」できれば「A」と判定する。
> 眼科への受診を勧める基準は以下のとおりとする。
> １　幼児は左右どちらか片方で年長児は1.0未満、年少・年中児は0.7未満であるものに受診を勧める。
> ２　児童生徒は、左右どちらか片方でも③0.7未満であるものに受診を勧める。

	①	②	③
１	○	○	×
２	×	○	○
３	○	×	○
４	×	×	×

（２）次の文は、眼の疾病及び異常の有無の検査について書かれたものです。適した文を１～４から１つ選び、番号で答えなさい。 19

１　検査者が被検査者の上位で相対し、ペンライト又は小さな目標物を使用して検査する。

２　カバーテストで斜視と斜位を検出し、カバー・アンカバーテストや交代カバーテストで斜視と斜位を区別する。

３　角膜反射法は、ペンライトを被検査者に見てもらい、角膜に映ったライトの反射の位置によって眼位の状態を確認する方法である。

４　ペンライトを上下左右４方向に動かしながら眼球運動を見る。

（３）次の文は、脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態の検査の留意事項の一部です。適した文を１～４から１つ選び、番号で答えなさい。 20

１　肩の高さ・肩甲骨の高さや後方への出っ張り・ウエストラインの左右差の有無を確認する。また、ゆっくり背屈させながら、背中の肋骨の高さに左右差があるかどうか、腰椎部の高さに左右差があるかどうか確認する。

２　かがんだり（屈曲）、反らしたり（伸展）したときに、腰に痛みが出るか否かをたずね、後ろに反らせることにより腰痛が誘発されるかどうか確認する。

３　肩関節の可動性は背面より観察して、児童生徒等の両肘関節を伸展させた状態で上肢を前方挙上させて異常の有無を検査する。上腕が耳につくか否かに注意する。

４　肘関節の可動性は前面より観察して、児童生徒等の両前腕を回外させて、手掌を上に向けた状態で肘関節を屈曲・伸展させて異常の有無を検査する。

11　健康観察の方法と心の健康問題への対応について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の文は、健康観察のポイントについて書かれたものです。適した文の組み合わせを、下の１～６から１つ選び、番号で答えなさい。 21

① 拒食症（神経性無食欲症）と単なるダイエットの区別は容易である。
② 自傷行為の背景の一つとして境界性パーソナリティ障害がある。
③ “ボーッとする”原因の一つとして、てんかん発作による一過性の意識消失のことがある。
④ チックの症状は顔の動きや声が出るといったもので、手足を動かすことはない。

１　①、②　　２　②、③　　３　③、④　　４　①、③　　５　②、④　　６　①、④

（2）次の文は、心の健康問題への対応における教職員の役割について書かれたものです。①～⑤のうち、養護教諭の役割のポイントとして適したものの数を１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 22

① 子どもの心身の健康状態を日ごろから的確に把握し、問題の早期発見・早期対応に努める。
② 子どもの個別の教育支援計画作成に参画する。
③ 学校ではどこまで対応できるのか見立てを明確にする。
④ 対応策に当たっての決定権を持つ。
⑤ 教職員へのコンサルテーションを行う。

１　１つ　　２　２つ　　３　３つ　　４　４つ　　５　５つ

12　学校環境衛生について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の文は、教室等の採光及び照明に係る学校環境衛生基準の一部です。文中の（　①　）～（　③　）に適した語句の正しい組み合わせを、下の１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 23

○教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、（　①　）lx（ルクス）とする。また、教室及び黒板の照度は、500 lx 以上であることが望ましい。
○コンピュータを使用する教室等の（　②　）の照度は、500～1000 lx 程度が望ましい。
○テレビやコンピュータ等の画面の（　③　）照度は、100～500 lx 程度が望ましい。

	①	②	③
１	300	机上	垂直面
２	500	黒板	鉛直面
３	300	黒板	垂直面
４	500	机上	鉛直面
５	500	黒板	垂直面

（2）次の表は、教室等の換気及び保温等に係る学校環境衛生基準と検査の方法の一部です。表中の（　①　）・（　②　）に適した語句や数字を、下の１～５からそれぞれ１つ選び、番号で答えなさい。

検査項目	方法
一酸化炭素	（　①　）により測定する。
ダニ又はダニアレルゲン	温度及び湿度が高い時期に、ダニの発生しやすい場所において１㎡を電気掃除機で（　②　）分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫測定法によりアレルゲン量を測定する。

（　①　） 24

１　ザルツマン法　　２　検知管法　　３　容器採取法
４　高速液体クロマトグラフ法　　５　固相吸着/溶媒抽出法

（　②　） 25

１　1　　２　2　　３　3　　４　4　　５　5

13　学校において予防すべき感染症について、（1）・（2）の各問いに答えなさい。

（1）次の表は、学校において予防すべき感染症の一部です。（　①　）・（　②　）に適した感染症名を、下の１～６からそれぞれ１つ選び、番号で答えなさい。

（　①　）	発熱、結膜炎、咽頭炎を主症状とする疾患である。プール熱ともいわれるが、プールのみで感染するものではなく、飛沫（まつ）・接触で感染する。夏期に多く、幼児から学童に好発する。
（　②　）	かぜ様症状の後に、顔面、頬（きょう）部に蝶のような形の紅斑がみられ、手足にはレース状の紅斑がみられる。ほほの真っ赤な発しんの状態から、りんご（りんごほっぺ）病とも呼ばれている。幼児から学童に好発する。

（　①　）　26

１　流行性角結膜炎　　２　溶連菌感染症　　３　肺炎球菌感染症
４　マイコプラズマ感染症　　５　咽頭結膜熱　　６　伝染性紅斑

（　②　）　27

１　流行性角結膜炎　　２　溶連菌感染症　　３　肺炎球菌感染症
４　マイコプラズマ感染症　　５　咽頭結膜熱　　６　伝染性紅斑

（2）次の文は、学校保健安全法施行規則第 19 条（出席停止の期間の基準）の一部です。正しい場合を○、誤った場合を×としたとき、下線①～④の○×の適した組み合わせを、下の１～８から１つ選び、番号で答えなさい。　28

・インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあっては、①発熱した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日（幼児にあつては、三日）を経過するまで。
・百日咳（せき）にあっては、特有の咳（せき）が消失するまで又は五日間の適正な②抗ウイルス性物質製剤による治療が終了するまで。
・③麻しんにあっては、解熱した後三日を経過するまで。
・水痘にあっては、すべての発しんが④消失するまで。

	①	②	③	④
1	○	×	×	○
2	×	○	○	○
3	×	×	○	×
4	○	○	×	×
5	○	×	×	×
6	×	○	×	○
7	×	×	○	○
8	×	○	×	×

14　次の表は、児童生徒に起こりやすい疾患について説明したものです。（　①　）～（　③　）に適した語句を、下の１～４からそれぞれ１つ選び、番号で答えなさい。

（　①　）	代表的な症状は「幻覚」と「妄想」である。発病初期からよくみられるのは、「周りの人が自分をジロジロみる」、「通行人が自分をあざ笑った」、「皆が自分を無視する」など身の回りで起きている出来事を自分と関連付けて被害的に知覚する「被害関係念慮」や、「周囲が変にみえる」などの外界変容感である。
（　②　）	月経に随伴して起こる病的症状で、月経時あるいは月経直前より始まる強い下腹部痛や腰痛を主症状として、下腹部痛、腰痛、腹部膨満感、嘔気、頭痛、疲労・脱力感、食欲不振、イライラ、下痢および憂うつの順に多くみられる。子宮内膜症等に起因する器質性（　②　）と特定の疾患のない機能性（　②　）に分類され、思春期では機能性（　②　）が多い。機能性（　②　）は年齢、妊娠出産とともに軽快すると説明されていることが多いが、痛み止めを飲んでもおさまらない、日常生活に支障をきたす場合などは、心身の症状への対処や治療の選択肢、子宮内膜症のリスクなどを考慮して、婦人科受診を勧めることが望ましい。
（　③　）	大腿骨頭に栄養を送る血液の流れがなんらかの原因によって悪くなり、骨頭が一時的に壊死を起こす疾患である。股関節の痛みと跛行がみられる。発症は３～12 歳頃であるが、最も頻度が高いのは４～８歳頃で、男子に多い。

（　①　）　29

１　うつ病　　２　心的外傷後ストレス障害　　３　統合失調症　　４　双極性障害

（　②　）　30

１　月経困難症　　２　月経前症候群　　３　思春期早発症　　４　甲状腺機能低下症

（　③　）　31

１　ペルテス病　　２　大腿骨頭すべり症　　３　発育性股関節形成不全　　４　オスグッド病

15　次の文は、保健室経営計画について書かれたものです。（　①　）～（　③　）に適した語句の正しい組み合わせを、下の１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 32

学校保健計画は、学校保健活動の年間を見通した総合的な基本計画である。学校保健の成果を上げるためには、保健教育と保健管理に加え、全ての教職員が役割を分担し、家庭や地域の関係者と連携して組織的に活動を推進することが必要となることから、学校保健目標を達成するために、「保健教育」「保健管理」「組織活動」の３領域について、毎年度、具体的な計画として作成されるものである。

一方、保健室経営計画は当該学校の（　①　）および学校保健目標などを受け、その具現化を図るために、保健室の経営において達成されるべき（　②　）を立て、計画的・組織的に運営するために作成される計画である。学校保健計画は全教職員が取り組む総合的な基本計画であるのに対し、保健室経営計画は、学校保健計画を踏まえた上で、（　③　）が中心となって取り組む計画である。

	①	②	③
１	教育目標	成果	養護教諭
２	教育目標	目標	校長
３	教育目標	目標	養護教諭
４	教育理念	成果	校長
５	教育理念	目標	養護教諭

16　児童虐待について、（１）～（３）の各問いに答えなさい。

（１）次の文は、虐待の気付きと初期対応について書かれているものです。適さない文を１～４から一つ選び、番号で答えなさい。 33

１　子供のつらさに寄り添う声かけをする。
２　現在の生活の状態について、事情聴取する。
３　「私はあなたの味方である」という思いを伝える。
４　子供に通告についての説得をする。

（２）次の文は、虐待の初期対応での記録の重要性と留意点について書かれたものです。適した文を１～４から１つ選び、番号で答えなさい。 34

１　子供が話した順番に記録する。
２　子供から聞いた内容は、要約して記録する。
３　担当者が感じ取ったことは、確実な情報とは区別して記録する。
４　記録に描画などは用いない。

（３）次の文は、虐待を受けた子供と家族への支援において在宅支援と学校の役割について書かれたものです。正しいものを、次の１～４から１つ選び、番号で答えなさい。 35

１　児童相談所が対応した虐待相談件数のうち、約１割は在宅支援のケースとして地域で子供と家族への支援を行っている。
２　家庭の情報を把握するためには、学校運営協議会の枠組みの中で情報を共有する。
３　性的虐待のケースの場合、性的虐待の行為者である加害保護者に対しては、子供をそこから分離させ、再び接触させないといった対応が基本である。こうした措置を含め、加害保護者への対応は学校が中心的役割を担う。
４　学校は、家族で満たされなかった様々な課題への補償機能を持っている。

17　学校保健委員会について、適さない文を１～５から１つ選び、番号で答えなさい。 36

１　学校保健委員会が、学校保健活動の中心として機能するだけでなく、学校、家庭、地域の関係機関等の連携による効果的な保健活動につながるよう、その活性化を図っていくことが大切である。

２　学校保健委員会の構成員は、校長、関係教職員をはじめ保護者や地域の保健関係者、児童生徒等など学校や地域の実情に応じて決められている。

３　学校保健委員会は、学校医が中心となり企画・運営に当たることが重要である。

４　学校保健委員会の企画に当たっては、議題選びが重要となる。できるだけ具体的な議題に絞り、現状の課題をとらえ、その解決のための協議を行うようにする。

５　学校保健委員会の運営においては、学校と家庭の役割を明確にする。

18　次の文は、救急処置に関する校内研修について書かれたものです。正しい場合を○、誤った場合を×としたとき、①～④の○×の適した組み合わせを、下の１～４から１つ選び、番号で答えなさい。

37

①　事故等が発生した際に、迅速な判断と適切な対応ができるようにするためには、危機管理意識を高め、危機管理体制の確認と整備を行うとともに、事故等を想定した訓練を実施しておくことが必要である。事故等を想定した訓練の実施時期は、年度末が望ましく、毎年実施することが大切である。

②　AED の設置に当たっては、目立つ場所、使われる可能性の高い場所からのアクセスを意識する必要がある。AED が近くにない場所で開催される心停止発生リスクの高い行事には AED を移動して準備するなどの工夫も求められる。

③　AED の管理は、養護教諭が責任をもって管理運用し、費用負担を含めた運用計画を立案する。

④　AED には、正常に動くかどうかを示すためのインジケーターが付いているので、日常点検する際には、インジケーターの表示を確認し、記録しておく。

	①	②	③	④
１	×	○	×	○
２	×	×	○	○
３	○	○	×	×
４	○	×	○	×

解答一覧表　専門(養護)

問題番号			解答番号	正答
大問	中問	小問		
1	(1)		1	3
	(2)		2	1
2	(1)		3	4
	(2)		4	2
3	(1)		5	5
	(2)		6	3
4			7	2
5			8	1
6	(1)		9	5
	(2)		10	1
7	(1)		11	4
	(2)		12	4
8	(1)		13	5
	(2)	①	14	3
		②	15	2
	(3)		16	4
9			17	1
10	(1)		18	4
	(2)		19	3
	(3)		20	2
11	(1)		21	2
	(2)		22	3
12	(1)		23	1
	(2)	①	24	2
		②	25	1
13	(1)	①	26	5
		②	27	6
	(2)		28	3
14		①	29	3
		②	30	1
		③	31	1
15			32	3
16	(1)		33	2
	(2)		34	3
	(3)		35	4
17			36	3
18			37	1